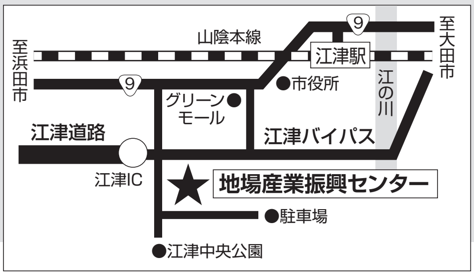
地域講演の紹介

〈ふるさとをもっと知ろう!〉

江津会場　1月12日(日)

◎時間／13:00〜16:30〈入場無料〉
◎会場／江津市地場産業センター
江津市嘉久志町イ405番地 電話(0855)52-0600



〈1〉「江津の万葉のすばらしさを語る」―江津市内各地区の活動―

万葉公園

都野津柿本神社

多鳩神社

大崎鼻

(1) 麻呂の会 ―万葉公園

花田宗重氏とその仲間達により、人丸神社が創建され、その後、高木市之助氏・坂本信幸氏の歌碑も設立。
人麻呂と依羅娘子(よさみのおとめ)の二人の銅像を作り、展望台からは眺望抜群。「石見相聞歌」の世界に浸れます。紅葉の植樹、桜の植樹をし、春も秋も楽しめます。

(2) 角の会 ―都野津柿本神社と周辺

人麻呂さんが恵良媛(えらひめ)さんと暮らしていたと伝えられる所です。恵良媛さんの子孫道益が植えたといわれる、樹齢700年ほどの「人麻呂の松」の一部も「松の館」で展示されています。
江戸時代には「人丸の大明神」とよばれた祠(ほこら)もあったといわれます。犬養孝氏の歌碑があります。

(3) 万葉ロマンの会 ―恵良媛さん

柿本人麻呂とその妻・恵良媛(依羅娘子)、そしてヤタガラス、石見王などの伝説に彩られた二宮町。
延喜式にのる古社(多鳩(たばと)神社・夜須(やす)神社)があり、ツヌガアラシトの祠などがあります。地名も由来が深く情景もすばらしい地・二宮町は万葉ロマン溢れる里です。清水克彦氏歌碑があります。

(4)「石見相聞歌」の朗唱

大崎鼻から見た風景は、まさに「石見相聞歌」の世界。
「石見の海　角の浦廻・・・　海辺をさして　荒磯の上・・・
玉藻沖つ藻・・・・」「石見の海　高角山の　木の間より
　我が振る袖を　妹見つらむか」
こども達の朗唱によって、この情景を味わえば、やっぱりやっぱり人麻呂さんの世界!

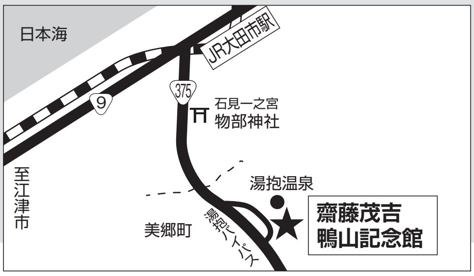
〈2〉「小学生(5年)・中学生(2年)の短歌教室と万葉のふるさと江津」

山陰万葉を歩く会 会長　川島　芙美子

江津は万葉のふるさとだから、和歌を作るのが、楽しい、おもしろい!!

美郷町会場　1月13日(祝・月)

◎時間／13:00〜15:50〈入場無料〉
◎会場／斎藤茂吉鴨山記念館
邑智郡美郷町湯抱 電話(0855)75-1070



■バスのご案内
JR大田市駅より石見交通バスで40分、
「湯抱温泉口」下車。
徒歩約1分で、齋藤茂吉鴨山記念館着

●美郷町の「人麻呂公御神像」

―中世に広まった人麻呂信仰―

山陰万葉を歩く会 会長　川島　芙美子

人麻呂さんは中世、特に南北朝時代に神様となります。連歌の世界では。